

早大フォーミュラチーム

葵製作所が治具納入

カーボンマシンボディー用

板金加工業の葵製作所(本社||東京都八王子市、長谷川薫社長)は30日、複雑な曲げ加工を施したカーボンマシンボディー用の治具を

早稲田大公認サークルの早稲田フォーミュラプロジェクトチームに納入したと発表した。同プロジェクトはフォーミュラカーの設計、製作、運転までを行っている。同社の板金加

工技術に関する専門知識により、9月開催予定の学生フォーミュラ日本大会に向けて、パフォーマンスをアップさせた。

長谷川社長は「今回のコラボレーションは次世代のエンジニアリングの才能を支援するという思いが表れたもの」と同プロジェクトに協力した意図を述べ

た。非常に複雑なR形状のカーボンマシンボディー用の金属製治具により、カーニバルマシンボディーは卓越した精度と品質を実現した。金属製治具によって二段レベルアップしたマシンの開発に貢献することができたと「思う」と同社の技術担当者、和田祥宣氏は語った。